

令和7年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 04		
コース名	人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー (3) ヒューマンエラー防止		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施日時	① 令和7年8月20日(水)	18:00～21:00	
	② 令和7年8月27日(水)	18:00～21:00	
	③ 令和7年9月3日(水)	18:00～21:00	
	④ 令和7年9月10日(水)	18:00～21:00	
	⑤ 令和7年9月17日(水)	18:00～21:00 (計15時間)	
募集定員	6人(最大10名程度)(最少実施人数2人)		
募 集 対 象	対象職種：不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)		
	受講に必要なレベル：不問(受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施)		
目 標	事故防止の基本的な考え方を理解し、各自の現場で実践できる。		
講 座 内 容	<p>生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性(失敗防止、事故防止など)の向上を図る必要があります。</p> <p>様々な現場においてヒューマンエラーを要因の一つとする事故や損失が発生しており、作業者の安全・品質向上のためにヒューマンエラー防止が大切な課題となっています。</p> <p>本講座では、ヒューマンエラーの防止方法、ヒューマンエラーが発生しても事故が起きない仕組みの構築方法について日常や生産現場の事例に基づいて説明します。また、近年、安全分野では失敗事例だけでなく、成功事例に目を向けることが大切と言われています。そこで、安全分野における最新の取組みについても紹介いたします。さらに、今後の自動化の進展を考慮し、保全についてお話しさせていただきます。</p>		
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「ヒューマンエラー防止」「人間工学」、「保全」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履 修 項 目	①失敗と事故との関係	(3時間)	
	②ヒューマンエラーと組織エラー	(2時間)	
	③設備の保全と安全な利用	(1時間)	
	④安全に対する新しい考え方とレジリエンスな組織づくり	(2時間)	
	⑤エラーの分析手法と防止対策の立て方	(3時間)	
	⑥事例分析/事例紹介	(3時間)	
	⑦FMEA	(1時間)	
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし		
必 要 な 持 ち 物	筆記用具		
受 講 料 費 用	受講料：6,900円(15時間コース)		
	自己負担：なし		
留 意 事 項 等	6つの講座からなる「人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む一人の教員が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので講座一つでも 受講可能 です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々ないらっしゃいます。		